

保護者アンケート 自由記述への回答

「学校だより第3号」掲載以外のもの

1 学習・授業について

(1) 体育の授業

- ・なぜ女子の体育で柔道をするのでしょうか？柔道をした日によく頭痛を訴えます。

A：現在、中学校の学習指導要領（学校での教育内容の基準を示したもの）では、「武道の学習を通じて我が国固有の伝統と文化に、より一層触れ理解する」ことを目的に、平成24年度から第1学年及び第2学年において、男女とも保健体育で武道は必ず教えなければならない内容のひとつになりました。

（中学校第3学年は選択制）

高等学校の学習指導要領では、武道は球技との選択制になっています。滝川高校では、中学校で必修だった武道の目的を継続的・発展的に達成するために柔道を実施しています。柔道の授業については、安全性の確保を第一に実施していますが、本人の体調等の理由で実技ができない場合は、授業見学という形もとっていますので、ご理解をお願いします。今後も、武道の実施について何かご意見があれば学校までお寄せください。

(2) 成績通知

- ・子供の成績の状態が伝わってこないの、わからない。
- ・授業参観をする機会が少ないと思います。参観することができてないので、評価できません。

（同様の意見2）

A：お子様の成績通知については正式には前期後期末の2回、通知表として保護者宛に郵送しています。その他に年に4回の考查ごとに「成績表」（各科目の点数・総合点・順位等）をお子様へ渡し、保護者の皆さまにも確認していただくように指導しています。今後、「成績表」については郵送も検討していきます。また、授業参観については、4月のPTA参観や6月のオープンスクールで授業公開をしています。さらに、土曜活用での公開授業を増やすなど授業を見ていただく機会を増やしたいと考えています。

(3) シラバス

- ・授業がシラバスに即して行われているのか、疑問に感じることがある。

A：シラバスの役割には、「授業の目的（生徒に身に付けさせてい力）の明確化」「授業の1年間の流れ」「評価規準の明確化」「学習方法のアドバイス」等があります。残念ながら教員による自己評価でもシラバスの活用については課題がある、という評価が出ています。校内研修の実施等で共通理解を図り、効果的にシラバスを活用していきたいと考えます。

2 進路について

(1) キャリア教育

- ・大学進学はもちろんですが、その先の就職を踏まえた個人的な相談・指導をお願いしたいです。

（同様の意見2）

A：文科省や道教委が推進しているキャリア教育は、まさに大学進学だけではなく、その先の将来を見とおした勤労観や職業観の育成が大切であるとしています。本校におきましても普通科では「総合的な学習の時間＝T3（Takikou Trial Time）」で、理数科では「SSH事業＝TFS（滝高フロンティアサイエンス）」で、3年間を見とおした体系的なキャリア教育を行っています。その一つとして病院での看護体験や小学校での教育実習体験等を実施しておりますが、今後はさらに体験先を確保しインターンシップを拡充していきたいと考えます。

(2) 講習、模擬試験

- ・講習、模擬試験等は多々行われていると思いますが、数をこなしているだけで、生徒の身になっているのか疑問に思います。

（同様の意見3）

A：講習や模擬試験につきましても3年間を見とおした「進路シラバス」を作成し学校全体で組織的・継続的に取り組んでいます。ただし、「受験は団体戦」で臨むことが現役生の強みとなっていることから、講習につ

いては実施時期・内容・時間等で、模擬試験につきましても効果的な事前事後指導のあり方等、検討や改善をしていかなければならないと考えています。

3 広報活動について

- ・学校のHPの部活動報告に出ていない部活動があると思います。成績が良かったものだけではなく、団体競技だけでも全て結果を載せるべきだと思います。
- ・PTA、参観、懇談などの各種イベントが、いずれにおいても敷居が高く感じられる（実際はまだよくわからない）。学校や先生が受け身のイメージがあり、保護者側からアクションを起こすのに勇気がいる。特に初めて高校生の親となった場合。進路についても、何を、どう、誰にすれば良いかわからない。（同様の意見3）

A：開かれた学校として、教育活動についてしっかりと説明責任を果たすことが、保護者や地域からの信頼につながると思います。HP・学校だより・PTA広報誌「まほろば」の充実、本校の教育活動を積極的に公開し、ご理解とご支援をいただく一つの手段として今後も継続してまいります。そのことを踏まえ、ご指摘があった点も含めさらに最新の情報を広くお伝えしていきます。また、個別懇談や三者懇談を設定していますのでぜひご来校ください。加えて時間の都合の悪い方は、いつでも別途ご連絡ください。

4 SSHについて

- ・SSHの指定校になっているということで期待がありましたが、ほとんどが理数科の生徒さんが対象であることに、少し残念に思いました。（同様の意見1）

A：文科省指定の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」事業については、5年間の指定のうち2年目を終えようとしています。8月には初めての海外研修である「マレーシアボルネオ研修(6名)」、1月には「沖縄研修(10名)・「東日本（宮城県を中心）研修(10名)」を実施し、生徒は現地でしか学ぶことのできない貴重な体験をしてきております。参加生徒は普通科・理数科に関係なく公募制としており実際に半数の生徒は普通科の生徒でした。しかし、ご指摘のとおり日常における授業や課題研究発表会は理数科や科学部が中心となっており、全校的な広がりが今後の課題として残されています。本校SSHのメインテーマであります「環境共生」をキーワードとして、普通科にも課題研究を実施するなど全校的な取組を充実させます。

5 学校の環境整備について

(1) 学習環境

- ・放課後における図書室、進路資料室等の自習ができる場所の使用時間を延長して頂きたい（JRやバスの待ち時間などにも使用できれば助かります）。
- ・毎日のカバン（学習道具）が重すぎて身体に悪い（腰痛など）ので、心配です。

A：学習の環境整備は、学校としても重要なこととして考えております。自習室の確保については、来年度に間に合うように具体策を立てたいと考えております（校舎内の教室の活用方法の見直し等）。また、教科書等を置いていくことについては、家庭学習や定時制とのかねあいで難しい面もありますが、現在ある「置いていっていいものとダメなもの」のルールについて再検討します。

(2) 交通安全

- ・学校前に信号があると良いと思います。危ないです。

A：2年前ら滝川市や滝川警察署、町内会の協力もいただき、設置者である北海道公安委員会に学校前の信号と横断歩道の設置の要望書を提出しているところですが、実現していません。来年度以降も継続して要望していきます。

6 PTA活動について

- ・PTA活動については、高額なPTA会費を集めていると思われ、親の負担を考慮した必要最小限で活動することを望みます。どこの家庭も裕福で滝川高校に通わせている訳ではないことを考えて欲しいです。

A：PTA会計に関しては、公費負担との区別や保護者負担の軽減等について、本校のみならず全道的な取り組みとして行われてきました。本校でも平成25年度から年会費を6,800円から5,400円へ値下げをしたところであり、今後もPTA活動につきましても活発にしていきたいと考えていますが、保護者負担については可能な限り軽減できるようにしていきたいと考えています。

7 保護者アンケートについて

- ・アンケートが抽象的で理解できないものがあります。

(同様の意見4)

A：この保護者アンケートは、4年前から始まり、経年比較という観点から同じ質問項目を使ってきました。ご指摘のとおり課題はありますので、来年度はアンケート項目の見直しを行います。